

サケ

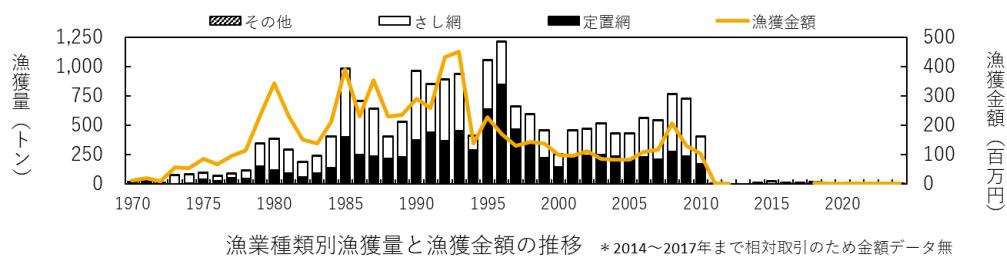
1 生態

- ・主に茨城県以北の太平洋側、石川県以北の日本海側に分布します。河川で生まれた稚魚は3～5月に降海し、北太平洋海域（オホーツク海、ベーリング海、アラスカ湾）まで索餌回遊します。成熟すると日本沿岸まで来遊します。
- ・2歳で約50cm、4～6歳で最大80cmに成長します。
- ・成熟は2～6歳で、主群は4歳です。9～12月にかけて沿岸に来遊し、生まれた河川に遡上して産卵します。
- ・幼魚期は主に動物プランクトン、成魚はオキアミ、魚類やイカ類を食べます。



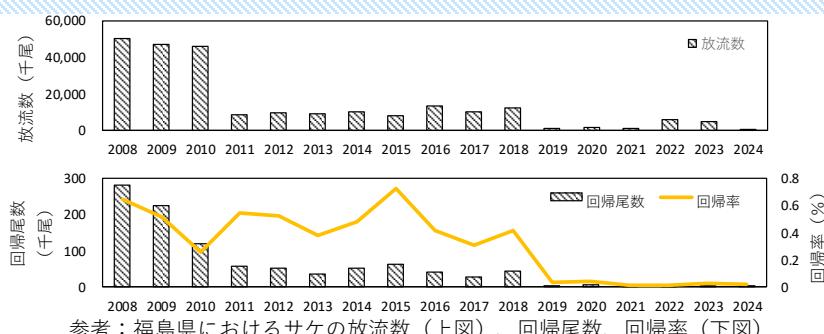
2 漁業に関する情報

- ・刺し網や定置網で漁獲されています。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2014年（平成26年）9月から再開されています。
- ・2024年（令和6年）の海面での漁獲量は3.8kgでした。



3 資源の状態

- ・資源の水準：低位 資源の動向：横ばい
- ・国による「令和6年度国際漁業資源の現況」によればサケ（シロザケ）日本系の資源水準は低位、動向は横ばいです。
- ・本県においては2019年（令和元年）以降、海面漁獲量、河川採捕数ともに極端に減少していることから、本県におけるサケの資源水準は極めて低位であると考えられます。また、回帰率も2019年（令和元年）以降急激に低下し、2024年（令和6年）の回帰率はわずか0.021%でした。



4 資源管理の取組み

- ・産卵親魚保護のため、福島県漁業調整規則により河口前面海域での漁獲が制限されています（特定の河川の河口中央から半径550m以内の海面、毎年9月1日から翌年5月31日まで）。